豐教育資料

2016年11月14日号

No.1409

EDUCATIONAL PUBLIC OPINION http://www.kyoiku-shiryo.co.jp

〉〉〉好評連載

- **校長講話【子どもに好かれる先生と嫌われる先生**】野□晃男/前盛岡大学非常勤講師
- 法律相談【休み時間中の校庭や体育館における子ども間での事故】三坂彰彦/弁護士
- 危機管理【話を聞けない子どもたち】石橋昌雄/立正大学特任准教授(前公立小学校校長)

関する調査」結果速報値(概要)】 資料【平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に

◎文部科学省

▼事務新時代【事務長の学校経営参画について①】 ②品川裕香/教育ジャーナリスト

マイオピニオン【ゾアルな感情体験の有無。の二極化が進む子ども若者たち、

→事務新時代【事務長の学校経営参画につご

◎太宰久夫/特定非営利活動法人アート・イン・ライフ代表
潮流【アートをすべての人の生きる力に】

太宰久夫



アート・イン・ライフ代表 特定非営利活動法人 太宰久夫氏に聞く



アートをすべての 人の生きる力に

アート(藝術)を特別な人のためでなく 生活の中で人生のあらゆるシーンで すべての人の生きる力にすることを コンセプトに活動してきたという。

についての取り組みはあったのでしょうか。 きました。 実は、私が所属している玉川大学には、 NPO法人となる前から、表現教育

の分野ではパイオニア的な役割を果たして 年にNPO法人として設立認証を受け、こ と文化芸術活動の専門団体です。2001 育)の手法を用いたワークショップや講座、

演劇創作活動などを実施している表現教育

国各地でドラマ教育

(ドラマによる表現教

するための芸術振興事業に取り組んでいま が文化芸術活動に親しみ、「生きる力」と

舞台芸術と教育の専門家を派遣し、

全

刺激を受けて日本でも、 置づけることが主流になっており、 後半から学校劇などの実践や研究が大きく 導を受けました。日本では、1960年代 陽先生がおられて、私も学生のころから指 児童演劇の研究者として知られている岡田 マ教育や表現教育の中で創作的な活動を位 発展しました。すでにヨーロッパではドラ 単なる鑑賞や決ま それに

表現教育と文化芸術活動の専門団体

特定非営利活動法人アート・イン・

ライフの目的や主な活動内容について教え

私たちは、子どもから大人まで全ての

どに参加してもらい、参加した子どもたち

指導者には芸術の各分野のトッププロ

状況にその場で臨機応変に関わって頂き

不登校や学校ではいじめられてい 子どもたちの中には自閉症気味の

ました。

線で活躍しています。 場やさまざまな場で現在、 ば定着するかをテーマに勉強会などに参加 中頃には、仲間と共に表現教育がどうすれ ようになりました。 を重視した表現教育の していました。その時のメンバーが学校現 た脚本に基づいた演劇から創作的 私自身も1980 在り方が模索され 表現教育の第一 な要素

うですね。 どもたち主体の表現活動の試みがあったよ NPO設立の背景に、 福岡県での子

ちが主体となる活動を約1年半かけて監修 半には創作ミュージカルなどが地域の芸術 ルなどを行いました。 来てもらい、最初は遊びを中心にして、ワ しない範囲で子どもたちに公共文化施設に する機会がありました。週末などに無理を も福岡県の自治体からの 文化活動として注目されるようになり、 クショップをじっくりと8カ月ほど実施 NPO法人となる前、 その後半年ほど上演に向けてリハー 依頼で、 1990年代 子どもた . の後 サ

> もあって**、**組織的な対応をする必要性があ ましたが、活動を通して子どもたちは大き る子どもなど、多様な子どもが参加して 地域でもやりたいとの要請が増えたこと これがきっかけとなり、各地から自分達 成長し、公演は大成功を収めました。 NPOを設立することになっ たのです。

子どもの変化がすごい

のでしょうか。 る時、子どもたちはどのような反応をする 学校現場などに、直接指導に行かれ

術

多かったAちゃんが、 どもたちは、「Aちゃん、すごい!」と、 普段の授業とは違った表現活動の体験を通 もの状況を踏まえた対応などを打ち合わせ 任や副担任の先生たちと、一人一人の子ど どで、学校現場に行くことがありますが、 的 段は教室の端の方でじっとしていることの なります。特に、特別支援学級の仲間の子 して、どの子どももすごく集中するように します。 2コマほどのワークショップで、 ごく認め合うことが多いですね。事前に担 どもたちに比べて、友達の成長した姿をす 特に特別支援学級の子どもたちは、 な表現でみんなの注目を浴びる姿に、 文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」 舞台の真ん中で個性 他の子 普 な

きの声を上げることがありま

るも きかける要素があるようです。 のであるならば、 教科学習が主として知識に働きかけ 表現教育は

れる、と指摘しています。 メージを表に外化するためには何らかの技 ります。先に述べた岡田陽氏は、 イメージともいうべき要素があることにな に出る行為や言動を生み出す内なるもの、 仕草などが「表」とすれば、 す」ことですが、行為や行動、 そうですね。表現とは文字通り「表に (描く、奏でる、話す、など) 現象として表 動作、 内なるイ が活用さ

切で、特に目には見えない内面に焦点を当 現を行う上での内面と外面 必要があるのです。 っている経験を背景としたイメージをじっ ワークショップなどでも、まずは個人が持 巧があっても表現は未熟なものになります。 ですが、内面が未熟なままでは、技術や技 てるべきと考えます。技術的な要素も大切 りと充実させて、 ですから、表現力を高めるため 確かなものにしてい のバランスが大 に は、 表

でしょうか。 具体的にはどのようなやり方になる

体を知る、 まず、楽しむ、 他者を知る、 自己発見する、 緒に何かを創 自分の 身

クササイズですから、 を組むようにしています。 定しています。 てみる— ージの段階に何カ月もかけてい ーションに向 などの段階に沿っ かうの 明 ですが、その前 確な到達目標も設 たエ 最終的にはクリ ークサ 、ます。 サ のイ イ エ ズ

部分を耕してくれるのです。 が、表現教育のプログラムはその 育成などが、教育上の課題になっ たちの自己肯定感の低さや、 なども伸びてきます。 かってきました。 と、自己肯定感が育ちやすくなることが分 礎になります。ここの段階をしっかりやる て答えのない問題にも挑戦していく意欲の 特に、集中力と感覚力を高めることが また、 いま、 知識を活用する力 知識を活用し 日本の子ども ています 根っこの 基

自分を表現する力を

フランスと日本などの30~40歳代の大人にでうつっていってくる問題です。以前、アメリカ、でていくための「教科」はありませんが、でていくための「教科」はありませんが、でていくための「教科」はありませんが、これからの時代に求められる一人である。

「自分のことを表現するのが得意か」などと簡単のことを表現するのが得意か」などと簡単のことを表現するのが得意か」などと簡単のことを表現するのが得意がましたが、フランス人の多くは、こうした質問はナンセンスス人の多くは、こうした質問はナンセンスス人の多くは、こうした質問はナンセンスカの多くは、こうした質問はナンセンスカの多くは、こうした質問はナンセンスス人の多くは、こうした質問はナンセンスス人の多くは、こうしたが、フランな質問をするのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのがは、ことを表現するのが好きか」「自分のことを表現するのが得意か」などと簡単のことを表現するのが得意か」などと簡単のことを表現するのが得意がありました。

識がやや低いのはどうしてでしょうか。――日本では、自分のことを肯定する意

どもたちに話しかけるが、大人同士だと人 学校の先生方を対象とした表現教育のワー そのことが自己評価の低さにも反映します。 判断してしまうからではないでしょうか。 きるようになりました。その先生自身も自 通して大勢の人の前で堂々と自己表現 前で満足に話すのは苦手」と言っていた先 クショップで、「教室だと自信を持って子 ことに気付かなかったようです。 分にそのような人前で表現する力が がいましたが、 内面ではなくて、外に表れたもので評 人は見た目で判断しがちですが、その人 簡単なワー クショップを が

―「表現」は一人一人違うことから、

いでしょうか。 「何を表現しても自由」と捉えることはた

時々そのように勘違いされる方がいます。 ま現とは「自分で自分の表現に責任を持つ」 な表現は許さないという指導者の毅然とした姿勢が必要です。マナーや躾に関するこた姿勢が必要です。マナーや躾に関するこた。 とも表現教育では大切にしています。同時に、身体表現などの経験を通して、「より に、身体表現などの経験を通して、「より はいかにしています。 では大切にしています。 に、身体表現などの経験を通して、「より はいかに、身体表現などの経験を通して、「より はいかにしています。

最後に学校関係者にメッセージを。

参加してもらい、 をつなげる活動に活かしてほし 与えています。 子ども文化地域コーディネーターの資格を を経験した人などに講座を受けてもらって ではないでしょうか。同協会では、 窓口になってくれる外部のコーディネー 分野の実演家などを学校に呼ぶ場合などに、 協会の専務理事もしていますが、アー ・ます。 がいると忙しい学校の先生方も助かるの は、子ども文化地域コーディネーター ぜひ、 その専門性を地域と学校 退職した先生方にも P T A トの

http://www.artinlife.jp/